

R5 開始

うまじむら

馬路村（高知県）

～主な品目～
果樹（ゆず）

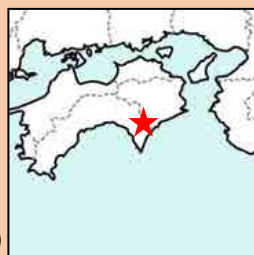
実施体制

馬路村、馬路村農業協同組合、馬路農協ゆず部会、馬路村農業委員会、高知県安芸農業振興センター、高知県安芸地域産業振興推進本部、馬路村教育委員会、コミュニティセンターうまじ（馬路温泉）

面積情報

有機農業取組面積：52ha 耕地面積に占める割合：81.3%

（令和3年度末時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（ゆず） R4年度 39 ha → R10年度 40 ha
 有機農業に取り組む農業者数の増加 R4年度 93 経営体 → R10年度 103 経営体

2 有機農業を拡大していく上での課題

生産者の労働力軽減、収入増加、新規農業者の参入が課題であり、対応策として商品の国内外の販路拡大が必要である。

拡大をはばむ雑草の紹介

・樹園地ごとに違いがある
 がイネ科、ブタクサ科が多い（6月～10月）

【対策】
 刈払機による除草



▲刈払機による
除草の様子

3 課題に対する取組のポイント・成果

- ・有機農業について雑誌を使いPRを行う
- ・商品の販路拡大を目指し、シンガポールでのイベントへ参加
- ・消費者のニーズをとらえた商品開発に取り組む

【取組による定量的な成果】

給食導入回数 R4：0回 → R5：1回

ポイントとなる技術

シンガポールでのイベントへ参加し商談を実施、ゆず皮残渣等によるたい肥を作成し各農家へ無償で配布



▲シンガポールでのイベントの様子



▲有機肥料により肥えた土

4 主な取組内容

①生産

- ・土壌診断に基づく適正施肥の実施。
- ・馬路村農協が地域内で出たゆず皮残渣やゆず剪定枝を用い、たい肥を作成し農家に配付。
- ・カミキリムシ対策に生物農薬の推進と補助を行っている。

②加工・流通

- ・シンガポールでのイベント参加によるPR。
- ・新商品開発への取組。

③消費

- ・学校給食に馬路村産のゆずを使用した給食ゼリーを導入。
- ・有機農業の取組等について、冊子掲載等の広報。



▲馬路村農協「ゆずの森加工場」で有機農業の取組について掲示